ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2025/01/15 号（As of 2025/01/14）

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	157.58
TKY 9:00AM	157.31	1.0263	161.26	1.2230	0.6191
SYD-NY High	158.19	1.0308	162.81	1.2250	0.6207
SYD-NY Low	157.05	1.0239	161.03	1.2140	0.6167
NY 5:00 PM	157.96	1.0307	162.81	1.2217	0.6194

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	42,518.28	221.16	日本2年債	0.6800%	0.0400%
NASDAQ	19,044.39	▲ 43.71	日本10年債	1.2400%	0.0500%
S&P	5,842.91	6.69	米国2年債	4.3679%	▲0.0220%
日経平均	38,474.30	▲ 716.10	米国5年債	4.5980%	▲0.0106%
TOPIX	2,682.58	▲ 31.54	米国10年債	4.7924%	0.0032%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,795.00	10.00	独10年債	2.6225%	0.0320%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,201.54	▲ 22.65	英10年債	4.8840%	▲0.0010%
DAX	20,271.33	138.48	豪10年債	4.6320%	▲0.0180%
ﾊﾝｾﾝ指数	19,219.78	345.64	USDJPY 1M Vol	10.86%	▲0.43%
上海総合	3,240.94	80.18	USDJPY 3M Vol	10.42%	▲0.38%
NY金	2,682.30	3.70	USDJPY 6M Vol	10.30%	▲0.25%
WTI	76.37	▲ 0.93	USDJPY 1M 25RR	▲1.04%	Yen Call Over
CRB指数	307.32	▲ 1.69	EURJPY 3M Vol	10.81%	▲0.43%
ドルインデックス	109.27	▲ 0.68	EURJPY 6M Vol	10.67%	▲0.30%

【昨日の指標等】

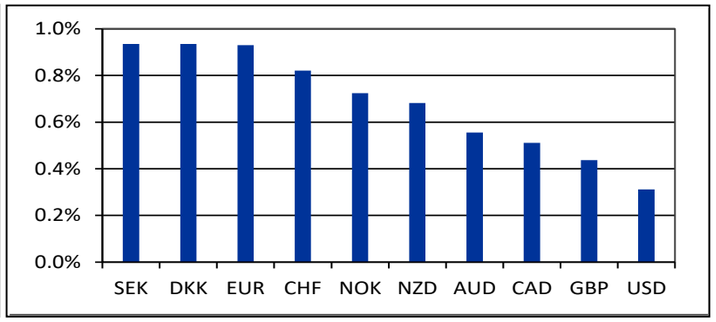
Date	Time		Event		結果	予想
1月14日	08:30	豪	ｳｴｽﾄﾊﾟｯｸ消費者信頼感指数	1月	92.1	–
	10:30	日	氷見野・日銀副総裁 講演	「来週の会合で展望リポートを元に、利上げ議論」		
	16:35	欧	レーン・ECB理事 講演	「ECB金利、2025年半ばまでに中立水準に」		
	22:30	米	PPI（前月比/前年比）	12月	0.2%/3.3%	0.4%/3.5%
1月15日	05:05	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	–	–	–

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
1月15日	12:15	欧	レーン・ECB理事 講演	–	–	–
	16:00	英	CPI(前月比/前年比)	12月	0.4%/2.6%	0.1%/2.6%
	16:00	英	CPIｺｱ(前年比)	12月	3.4%	3.5%
	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)・確報	12月	0.2%/1.3%	0.2%/1.3%
	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	11月	0.2%	0.0%
	22:30	米	NY連銀製造業景気指数	1月	3.0	0.2
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月	0.4%/2.9%	0.3%/2.7%
	23:20	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	–	–	–
1月16日	00:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	–	–	–
	01:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	–	–	–

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.00-158.50	1.0250-1.0350	160.50-164.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は157.31ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は前日NYの流れを引継ぎ円買い優勢となって一時157.05まで下落したがすぐに反発した。午前中の氷見野日銀副総裁の講演では、「経済見通しが実現すれば利上げへ」といったﾀｶ派的ﾍｯﾄﾞﾗｲﾝに反応し157.20近辺まで下落するも、その後はﾄﾞﾙの押し目買いにより、一転158.03まで上昇。しかし再びすぐに戻され、その後は157.60近辺で動意なく推移。結局157.64ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、157.64ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後に米12月PPI、明日に米12月CPIを控える中若干強含み、結局157.86ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.2209ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。明日に英12月CPIを控える中、引き続き英国債の利回りが高水準で推移し、英ﾎﾟﾝﾄﾞも対ﾄﾞﾙ、対ﾕｰﾛの両方で弱含み1.2155まで下落。結局、1.2163ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は157円台半ばでｽﾀｰﾄ。氷見野日銀副総裁が来週行われる日銀金融政策決定会合で「利上げを行うか議論する」との発言が伝わると、利上げ観測を意識した円買いが優勢となり、157.05まで下落。しかし、その後は米金利の上昇を受け反発し、157.86ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米24年度12月PPIが予想を下回ると、市場はﾄﾞﾙ売りで反応し、157.42まで売られる。売り一巡後徐々に値を戻し、158.19まで反発。午後は米金利の低下が重しとなり、158円ちょうど付近を挟んだ上値重い推移が続き、157.96ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.02台半ばでｽﾀｰﾄ。特段の注目材料が見当たらない中、1.0250付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0248ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は先述の予想を下回った米PPIの結果や、独金利が上昇幅を拡大する動きを背景に底堅く推移し、1.03台を回復する。午後は米金利の低下を背景に1.0308まで上値を伸ばし、1.0307ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は上昇。氷見野日銀副総裁のややタカ派的な講演中に荒い値動きを見せたが、1月会合における利上げ期待の高まりには繋がらず下値は限定的となった。海外時間では米12月PPIが予想を下回ったことで一時的にドルが売られたものの、米金利上昇などを背景に158円台へ反発した。本日のドル円は神経質な展開を想定。日中は本邦5・10日（ごとおび）の実需フローが下値をサポートするとみるも、海外時間に米12月CPIの発表を控え動意は薄かろう。米12月雇用統計の強含みにより、2025年のFOMCにおける利下げペース減速が改めて意識される状況下、米経済指標の下振れによるドル急落懸念が強まっていると思われる。引き続き本邦サイドからのけん制発言の可能性も考慮に入れつつ、ダウンサイドリスクを警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：山田・伊丹